



泉丘SSHだより



第8号 H19.11.6
編集: SSH推進室
発行責任者: 鈴木庸雄

石川県立金沢泉丘高等学校



つくばサイエンスツアー報告

5回目となる『つくばサイエンスツアー』が実施されました。



10月11日(木)

鈴木校長先生と久下教頭先生の見送りを受け、午前7時に金沢を出発しました。電車を乗り継ぎ筑波研究学園都市へ移動、研修がスタートしました。1日目は気象研究所と筑波宇宙センターに分かれ研修を行いました。

《国土交通省気象庁気象研究所》

研究所の概要説明

講義「地球温暖化による日本付近の詳細な気候変化予測に関する研究」

「低温実験施設見学」

「回転実験装置見学」

講義「地震と津波 ～地震と津波の発生に関する基礎知識～」



《筑波宇宙センター》

研究内容説明および所内研修

ビデオ上映→展示室

→宇宙ステーション試験棟

→無重力環境試験棟

→宇宙飛行士養成棟

講演会「人工衛星と追跡管制業務」

宇宙航空研究開発機構 工藤 伸夫氏



10月12日(金)

2グループは動物衛生研究所および筑波大学では1日研修を行いました。残りのグループは午前中は高エネルギー加速器研究機構、午後からは産業総合研究所・防災科学技術研究所・物質材料研究気候に分かれ研修を実施しました。研究施設での研修終了後、宿舎にてSSH2期生の先輩たちと懇談会を行いました。

《動物衛生研究所》

研究内容および概要説明

実験実習「牛の採血」・「血清分離」・「定量操作」

「高速液体クロマトグラフによる血液中ビタミン濃度の測定」

《筑波大学大学院生命環境科学研究科(遺伝子実験センター)》

講義「遺伝子組換え入門」

実験実習「大腸菌の形質転換、結果観察」

講義「遺伝子と社会」 鎌田 博教授

《高エネルギー加速器研究機構》

研究内容および概要説明

施設研修「放射光研究施設」・「ニュートリノ研究施設」・「BELLE 測定器」

《物質・材料研究機構》

研究内容および概要説明

「ダイヤモンドの科学」

「スパコンによる教材」

「超伝導材料」

「表面分析」



《防災科学技術研究所》

研究内容および概要説明

大型耐震実験施設

大型降雨実験施設

実験教室



《産業技術総合研究所》

研修研究内容および概要説明

施設研修「ICタグを用いたロボットについて」

「ICタグについての研究紹介Ⅰ・Ⅱ」



《卒業生との懇談会》

昨年度卒業したSSH 2期生3名に宿舎まで来てもらい、3年間の高校生活や大学生活などについて話してもらいました。



10月13日(土)

《日本科学未来館》

ワークシートを活用しながら、研修を行いました。展示してある中から、特に興味ある分野について詳しく調べたり、インタープリターの方に質問しながら研修を行いました。調べたことについて、班員の前でプレゼンテーションを行い理解を深めました。午後からは自由に施設研修を行いました。日本科学未来館では1日研修を行ったのですが、展示物が多くもっと時間をかけて研修したかったという意見が多く出ていました。

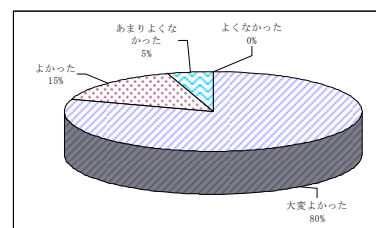


生徒感想

- 大型耐震実験装置、降雨実験施設を通して災害の恐ろしさを知ることができた。
- 興味ある分野の実際の現場を見学することで理解が深まり、さらに興味が湧いた。
- 産業技術総研で最先端の研究を見ることができてよかった。また、研究テーマに対するアプローチの仕方なども知れてよかった。
- 牛と触れ合う貴重な体験、採血という実習、またそれを用いて血球の顕微鏡観察や糖度測定などができてよかった。そして研究所の方と質問、会話をして興味が強くなったし、細かいことについても教えてもらえてよかった。
- 教授から国民は、食品に対して大きく誤解をしているという実態を教えてください「それを国民に教えなければ」という使命感をもてたし、それを実行するためには、どうすればいいのかという興味を持てた。
- 展示物がわかりやすい、実際に体験できた。また、ボランティアの方やインタープリターの方が、こちらから質問しなくても、詳しく丁寧に説明してくれたのがとてもよかった。
- 科学に関するたくさんの興味深い展示があって、見るのがとても楽しかった。体験できるところがあるのもよかった。説明が分かりやすかった。
- 皆で研修でき興味ある分野を学べたので将来の参考になった。また、卒業生と交流し、学生生活や大学について学べてよかった。
- 実物の宇宙ステーションや、高エネの粒子加速機など普段見られないものを見ることができた。また、様々な分野の研究や卒業生との交流もよい体験となった。
- 気象、高エネ、科学など様々な分野の研究を見学できて、将来について考えるよい機会となった。
- クラスが前よりまとまった気がする。何よりも最先端の技術を目の前にしたことで将来の目標を持つことができた。

帰りの飛行機の中でとったアンケート結果からもわかるように、今年のサイエンスツアーも実り多いものだったようです。普段触れることのない最先端の科学技術に触れ、見方考え方が変わってきたのではないのでしょうか。今回の研修を『楽しかった』で終わらず、今後のSSH活動や高校生活に活かしていきましょう。また、この研修を成功させるために、研究施設や大学の先生方が忙しい時間を皆さんのために割いてくれたということを忘れないでください。

なお、この研修についての詳細は、研修報告書を作成しますので、そちらをご覧ください。



番外編

宿泊研修と言えば・・・やはり宿舎の夜の楽しみですね。でも今年は楽しみ過ぎたために、朝寝坊してしまった生徒も多かったようです。入試の日の朝でなくてよかったですね。



つくばサイエンスツアーを終えて・・・

今年の研修は昨年までの反省を活かし、宿舎および移動方法を一部変更しました。移動については、バスでの長距離移動がなくなり時間通り研修を進めることができました。ただ、車窓から見える東京都内の夜景が研修の疲れを癒してくれたのに・・・と思うとちょっと残念だったかもしれません。景色といえば筑波での宿泊施設から条件がよければ右の写真のように富士山が見えるのですが、これも季節的に無理なようでした。残念！！

